

平成29年度 京都市予算案 事業概要

上下水道局

事務事業名	鉛製給水管(道路部分)の取替え																
予算額	3,090,000 千円	新規・継続の別	継続														
		政策的新規充実予算枠・局配分枠等の別	局配分枠														
担当課	水道部 給水課 (672-7747)																
<p>[事業実施に至る経過・背景など]</p> <p>漏水を防止するとともに、より安全・安心で良質な水道水を供給するため、「京(みやこ)の水ビジョン(平成19年策定)」において、平成29年度末までに道路部分の鉛製給水管を解消することを目標に掲げ、取替工事を実施している。</p> <p>[事業概要]</p> <p>鉛製給水管の取替えを目的とした単独取替工事により、道路部分(配水管から水道メーターまで)に布設された鉛製給水管の解消を進める。計画最終年度である平成29年度は、約12,600件の取替えを目標とし、平成29年度末までに取替え完了を目指す。</p>																	
<p style="text-align: center;">道路部分の鉛製給水管の割合 年度別推移</p> <table border="1"> <caption>道路部分の鉛製給水管の割合 年度別推移</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H24</td> <td>17.0%</td> </tr> <tr> <td>H25</td> <td>13.5%</td> </tr> <tr> <td>H26</td> <td>10.2%</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>7.1%</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>3.2%</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>0.0%</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">プラン = 京都市上下水道事業中期経営プラン(2013 - 2017)</p>				年度	割合	H24	17.0%	H25	13.5%	H26	10.2%	H27	7.1%	H28	3.2%	H29	0.0%
年度	割合																
H24	17.0%																
H25	13.5%																
H26	10.2%																
H27	7.1%																
H28	3.2%																
H29	0.0%																
<p>(事業実績)</p> <p>近年の鉛製給水管の取替えを目的とした単独取替工事</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>事業費</th> <th>件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成26年度</td> <td>3,020 百万円(決算)</td> <td>12,886 件</td> </tr> <tr> <td>平成27年度</td> <td>3,011 百万円(決算)</td> <td>12,423 件</td> </tr> <tr> <td>平成28年度</td> <td>3,090 百万円(見込)</td> <td>12,600 件</td> </tr> </tbody> </table>				年度	事業費	件数	平成26年度	3,020 百万円(決算)	12,886 件	平成27年度	3,011 百万円(決算)	12,423 件	平成28年度	3,090 百万円(見込)	12,600 件		
年度	事業費	件数															
平成26年度	3,020 百万円(決算)	12,886 件															
平成27年度	3,011 百万円(決算)	12,423 件															
平成28年度	3,090 百万円(見込)	12,600 件															
[参 考 (他都市の状況・事業効果など)]																	

平成29年度 京都市予算案 事業概要

上下水道局

事務事業名	鉛製給水管取替工事助成金制度		
予算額	5,600千円	新規・継続の別	継続
		政策的新規充実予算枠・局配分枠等の別	局配分枠
担当課	水道部 給水課 (672-7747)		
<p>[事業実施に至る経過・背景など] 宅地内(水道メーターから蛇口等までの間)に残存する鉛製給水管の取替を促進するため、取替工事費の一部を助成する制度を平成19年6月から実施している。</p> <p>[事業概要] 宅地内に残存する鉛製給水管を取り替える工事(漏水修繕時に鉛管を取り替える工事を含む。)を実施するとき、申請により工事代金の2分の1を助成する。平成29年度は、<u>交付額の上限を5万円から10万円に増額し、制度の利用促進を図る。</u></p>			
(事業実績)			
年度	交付件数	交付金額	
平成26年度	23件	1,077千円	
平成27年度	44件	1,842千円	
平成28年度()	17件	810千円	
平成28年11月末時点			
[参考(他都市の状況・事業効果など)]			

平成29年度 京都市予算案 事業概要

上下水道局

事務事業名	浸水対策の推進		
予算額	4,541,000 千円	新規・継続の別	継続
		政策的新規充実予算枠・局配分枠等の別	局配分枠
担当課	下水道部 計画課(672-7839)		
<p>[事業実施に至る経過・背景など]</p> <p>近年、台風に伴う大雨や、局地的大雨などが増加している。本市の公共下水道事業においては、昭和61年から10年確率降雨（1時間あたり62ミリ）への対応を進めており、これまでに総貯留量46万トン（25メートルプールにして約1,100個分）を超える雨水幹線等の整備を進めてきた。</p> <p>今後も市民の生命や財産を守り、浸水被害の最小化を図る「雨に強いまちづくり」の実現に向けて、大雨の時に雨水を取り込む雨水幹線等の整備を着実に進めていく。</p> <p>[事業概要]</p> <p>平成29度は、<u>新川6号幹線、花見小路幹線、山科川13-1号雨水幹線、伏見第3導水きよの整備を着実に進める。</u>また、伏見大手筋地域や淀地域などでの浸水対策や、雨水ますの増設などのきめ細やかな対応を行う。今後も河川事業と連携しながら、雨水幹線等の整備を進め、京都市「雨に強いまちづくり」推進行動計画の計画最終年度である平成31年度には、総貯留量約50万トンを目指す。</p> <p>(主な事業内容)</p> <p>新川6号幹線（阪急桂駅東側地区）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・口径 2,200mm / 延長 1,180m ・事業年度 平成26年度～平成30年度 <p>花見小路幹線（祇園地区）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・口径 1,800mm / 延長 840m ・事業年度 平成27年度～平成30年度 <p>山科川13-1号雨水幹線</p> <p>（山科北部地区(名神高速道路 京都東インターチェンジ南側)）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・口径 3,500mm / 延長 770m ・事業年度 平成27年度～平成31年度 <p>伏見第3導水きよ（伏見大手筋地区）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・口径 3,000mm / 延長 2,200m ・事業年度 平成27年度～平成31年度 			
<p>[参 考 (他都市の状況・事業効果など)]</p>			



整備中の雨水幹線の内部（新川6号幹線）

平成29年度 京都市予算案 事業概要

上下水道局

事務事業名	災害用マンホールトイレの整備		
予 算 額	271,000 千円	新規・継続の別	継続
		政策的新規充実予算枠・局配分枠等の別	局配分枠
担 当 課	下水道部 計画課(672-7839)		
<p>[事業実施に至る経過・背景など]</p> <p>災害時にも衛生的で快適な生活環境を確保するための災害用マンホールトイレ(地下部分)を、平成23年度から広域避難場所に優先的に整備しており、平成25年度以降は避難所となる小中学校等についても整備を進めてきた。</p> <p>[事業概要]</p> <p>平成29年度は、<u>広域避難場所となる梅小路公園及び、避難所となる小中学校16箇所</u>に整備する予定である。</p> <p>(設置実績)</p> <p>平成28年度までに</p> <p>広域避難場所：13箇所</p> <p>避難所：各行政区の小中学校等54箇所の設置が完了する見込みである。</p>			
			
<p>災害用マンホールトイレのイメージ</p>			
[参 考 (他都市の状況・事業効果など)]			

平成29年度 京都市予算案 事業概要

上下水道局

事務事業名	合流式下水道の改善		
予算額	1,875,000 千円	新規・継続の別	継続
		政策的新規充実予算枠・局配分枠等の別	局配分枠
担当課	下水道部 計画課(672-7839)		
<p>[事業実施に至る経過・背景など]</p> <p>汚水と雨水を1つの下水道管で流す合流式下水道は、大雨時に汚水の混じった雨水の一部が河川に流出し、水環境に悪影響を与えてしまうことから、公衆衛生上問題となっている。</p> <p>京都市では、河川の水環境の保全を目的として、昭和61年度から、雨天時に雨水吐口から河川へ流出する汚水の混じった雨水の量を減らすために、一時的に貯留する幹線等の整備を進めている。</p> <p>[事業概要]</p> <p>平成29年度は、伏見北部地域における貯留施設である津知橋幹線や、伏見水環境保全センターにおける雨天時の処理効率を高める（放流水質を改善する）高速ろ過設備の整備を着実に進める。</p> <p>(主な事業内容)</p> <p>津知橋幹線（伏見北部地区）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・口径 2,500mm / 延長 1,150m ・事業年度 平成28年度～平成32年度 <p>高速ろ過設備（伏見水環境保全センター）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業年度 平成28年度～平成29年度 <p>合流式下水道改善のための主な貯留幹線</p> <p>()内は供用開始年度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・吉祥院幹線（平成6年度） ・堀川中央幹線（平成20年度） ・東大路幹線（平成23年度） ・大手筋，南，北幹線（平成27年度） ・七条西，東幹線（平成27年度） 			
[参 考 (他都市の状況・事業効果など)]			

平成29年度 京都市予算案 事業概要

上下水道局

事務事業名	汚泥消化タンクの整備		
予算額	219,000 千円	新規・継続の別	継続
		政策的新規充実予算枠・局配分枠等の別	局配分枠
担当課	下水道部 計画課(672-7839)		
<p>[事業実施に至る経過・背景など]</p> <p>近年、循環型社会、低炭素社会への転換が求められており、下水道事業においても、省エネルギー化や温室効果ガスの排出削減等を進めていく必要がある。</p> <p>京都市では、下水の処理過程で発生する下水汚泥からメタンを主成分とする消化ガスを発生させ、焼却炉の燃料の一部として利用する取組を実施してきた。</p> <p>[事業概要]</p> <p>再生可能エネルギーの利用拡大を図るため、老朽化した消化ガス関連設備（汚泥消化タンク、消化ガス精製装置など）の再整備に合わせ、機能の向上を図ることで消化ガスの発生量を増加させる。</p> <p>平成29年度には、鳥羽水環境保全センターにおける汚泥消化タンク設備の工事を行うことで、消化ガス関連設備に係る整備を全て完了する。</p> <p>これにより、平成30年度から下水汚泥の焼却に要する燃料の全てを賄うことが可能となり、温室効果ガスの排出量を削減する。</p>			
<p>(主な事業内容)</p> <p>(1) 整備期間 平成26年度～平成29年度</p> <p>(2) 平成29年度の予定 鳥羽水環境保全センター 汚泥消化タンク設備工事</p>			
[参考(他都市の状況・事業効果など)]			

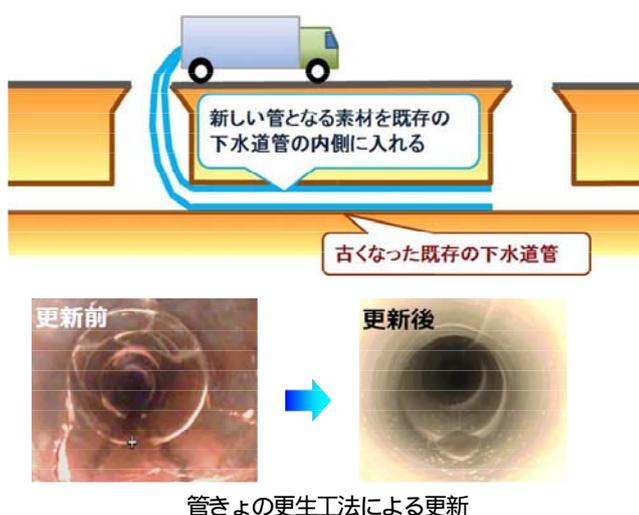
平成29年度 京都市予算案 事業概要

上下水道局

事務事業名	老朽化した水道管の更新と耐震化		
予算額	7,750,000 千円	新規・継続の別	継続
		政策的新規充実予算枠・局配分枠等の別	局配分枠
担当課	水道部 管理課 (672-7743)		
<p>[事業実施に至る経過・背景など]</p> <p>日常生活に欠かすことのできないライフラインである水道を将来にわたり安心して使い続けるため、昭和40年代から50年代初めにかけて布設した大量の水道管の計画的な更新が求められるとともに、大規模な地震に備え、水道管の更新による耐震化の必要性が高まっている。</p> <p>「京都市上下水道事業中期経営プラン(2013-2017)」では、東日本大震災や京都市洛西地域の大規模漏水事故の発生を踏まえ、プラン前の配水管更新率平均0.5%をスピードアップさせ、プラン最終年度の平成29年度までに1.2%まで引き上げることとしている。</p> <p>[事業概要]</p> <p>平成29年度は、配水管の更新率を平成28年度の1.1パーセントから、1.2パーセントに引き上げる。配水管の更新に当たっては、管の材質や布設年度をはじめ様々な条件を総合的に考慮し、優先順位を決めて、耐震性の高い「高機能ダクタイル鋳鉄管」への布設替えを実施する。</p> <div style="text-align: right;">  </div> <p>(主な事業内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幹線配水管布設替え 3.0 km ・支線配水管布設替え 27.0 km ・補助配水管布設替え 8.0 km <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p style="text-align: center;">< 配水管更新率 ></p> <p style="text-align: center;">H20 ~ 24平均 : 0.5% ⇒ H29 : 1.2%</p> <p style="text-align: center;">【 H29 (777)目標 : 1.2% 】</p> </div> <p style="text-align: center;">水道管更新工事</p>			
[参 考 (他都市の状況・事業効果など)]			

平成29年度 京都市予算案 事業概要

上下水道局

事務事業名	老朽化した下水道管の更新と耐震化		
予算額	1,729,000 千円	新規・継続の別	継続
		政策的新規充実予算枠・局配分枠等の別	局配分枠
担当課	下水道部 計画課(672-7839)		
<p>[事業実施に至る経過・背景など]</p> <p>快適で衛生的な暮らしを支え、良好な水環境を守る下水道を、将来にわたって安心して使い続けるため、老朽化した下水道管を更正工法や布設替えにより計画的に更新するとともに、重要な管路の耐震化を進め、地震に強い下水道の整備を推進していく必要がある。</p> <p>[事業概要]</p> <p>下水道管の標準的な耐用年数である50年を超過した老朽管や、緊急輸送路下に布設された管路や避難所等からの排水を受ける管路といった重要な管路について、更新や耐震化を実施することにより、平常時だけでなく、災害時においても下水道機能の維持・向上を図る。</p> <p>平成29年度は、老朽管や重要な管路の対策を約2.8km実施することにより、対象延長4.86kmに対する下水道管路地震対策率を、「京都市上下水道事業中期経営プラン(2013-2017)」での目標値87.7%を上回る88.4%に上昇させる予定である。</p>			
 <p>The diagram illustrates the pipe relining process. At the top, a truck is shown with a blue pipe being inserted into an existing underground sewer pipe. A callout box says '新しい管となる素材を既存の下水道管の内側に入れる' (Insert new pipe material into the inner side of the existing sewer pipe). Below this, another callout box points to the old pipe, saying '古くなった既存の下水道管' (Old existing sewer pipe). At the bottom, two circular photos show the '更新前' (Before) state with a narrow, rusty pipe and the '更新後' (After) state with a wider, smoother pipe. A blue arrow points from the 'Before' photo to the 'After' photo. Below the photos, the text reads '管きよの更生工法による更新' (Renewal by pipe-cleaning method).</p>			
[参考(他都市の状況・事業効果など)]			

平成29年度 京都市予算案 事業概要

上下水道局

事務事業名	営業所の再編及び太秦庁舎の整備		
予 算 額	100,000 千円	新規・継続の別	継続
		政策的新規充実予算枠・局配分枠等の別	局配分枠
担 当 課	総務部 経営企画課(672-7709) 技術監理室 監理課(672-7708) 総務部 総務課(672-7710)		
<p>[事業実施に至る経過・背景など] 「京都市上下水道事業中期経営プラン(2013-2017)」に基づき、老朽化した営業所庁舎の建替えに併せ、より一層効率的な業務執行体制を構築するとともに、水道・公共下水道事業の総合窓口としての地域に根差した市民サービスの向上と地域の防災拠点としての役割の充実に資するため、営業所を平成29年度に現在の6箇所から5箇所に再編する。</p> <p>[事業概要] 山ノ内浄水場跡地(以下「跡地」という。)の北西側用地に、上下水道局の新庁舎(太秦庁舎)を建設する。(平成29年度7月開庁予定。総事業費36億円)この庁舎には、右京営業所と西京営業所を統合した「西部営業所」のほか、市内北部エリアにおける水道・下水道の管路維持管理部門を集約して配置し、市民サービスの更なる向上を図るとともに、地域の防災拠点としての役割を担う。</p> <p>また、「京都市上下水道事業中期経営プラン(2013-2017)」では、経営基盤を強化し将来にわたり安定した経営を行うため、保有資産の有効活用を検討し、未利用地等の売却や有償貸付を推進してきた。跡地南側用地と北東側用地については、公募により選定した事業者と、それぞれ60年間の一般定期借地権設定契約を締結したが、平成29年度は、新庁舎1階に設けた店舗区画において、公募により選定された飲食店及び保険薬局が営業を行うことで、地域における賑わいの創出につなげる。</p> <p>(太秦庁舎整備スケジュール) 平成29年5月 建築工事完了 7月 太秦庁舎開庁</p>			



太秦庁舎外観イメージ図

(山ノ内浄水場跡地の有効活用)

- 1 南側用地
学校法人京都学園大学から土地の賃貸料を収入
- 2 北東側用地
学校法人大和学園及び社会医療法人太秦病院から土地の賃貸料を収入
- 3 北西側用地
株式会社ファーコス及び株式会社元廣から店舗のテナント料を収入予定



山ノ内浄水場跡地の全体図

【平成 29 年度における収入予定額】

	収入額	備考
南側用地	164,000 千円	平成 26 年 10 月分から収入
北東側用地	77,600 千円	平成 28 年 9 月分から収入
北西側用地	16,100 千円	平成 29 年 6 月～7 月頃の開業予定
計	257,700 千円	-

[参 考 (他都市の状況・事業効果など)]

平成29年度 京都市予算案 事業概要

上下水道局

事務事業名	ミスト装置の普及促進		
予算額	4,500千円	新規・継続の別	継続
		政策的新規充実予算枠・局配分枠等の別	局配分枠
担当課	総務部 経営企画課(672-7709)		
<p>[事業実施に至る経過・背景など]</p> <p>京都市では、環境にやさしい仕組みの冷却装置であるミスト装置（ ）の設置を、「京都市地球温暖化対策計画（2011-2020）」においてヒートアイランド現象を緩和するための具体的な取組の一つと位置付け、普及促進を進めることとしている。上下水道局においても地球温暖化防止の促進と水道水の新たな需要喚起につなげるため、平成23年度から普及促進を進めている。</p> <p>特殊なノズルを用いて水道水を微細な霧として噴出することにより水を効果的に気化させ、その気化熱が周囲の熱を奪う現象を利用して周辺気温を下げる装置</p> <p>[事業概要]</p> <p>平成29年度については、多くの市民や観光客の皆様が利用される京都駅前市バスのりばや四条通バス停（四条河原町、四条高倉）にドライ型ミスト装置を設置するとともに、保育所、幼稚園、児童館及び小中学校等にも簡易型ミスト装置をモニター設置する。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: flex-start;"> <div style="width: 60%;"> <p>(平成29年度実施予定)</p> <p>「京(みやこ)の駅ミスト」 京都駅前市バスのりばにてミスト事業を実施</p> <p>「京(みやこ)のまちなかミスト」 四条河原町・四条高倉バス停においてミスト事業を実施</p> <p>「澄都(すみと)くんと元気にミストシャワー」 簡易型ミスト装置を保育所等にモニター設置</p> <p>その他、各種イベント開催の場にミスト装置を設置する予定である。</p> </div> <div style="width: 35%; text-align: center;">  <p>四条河原町バス停のミスト装置</p> </div> </div>			
[参考(他都市の状況・事業効果など)]			

平成29年度 京都市予算案 事業概要

上下水道局

事務事業名	京(みやこ)の水飲みスポットの設置		
予 算 額	5,000千円	新規・継続の別	継続
		政策的新規充実予算枠・局配分枠等の別	局配分枠
担 当 課	総務部 経営企画課(672-7709)		
<p>[事業実施に至る経過・背景など]</p> <p>京都の水道水が安全・安心で、おいしく、高品質であることを、広く市民や京都を訪れる観光客の皆様にも実感していただき、多くの方に京都の水道水を飲んでいただけるよう、平成26年度から「京(みやこ)の水飲みスポット」として、水飲み場の設置を推進している。</p> <p>[事業概要]</p> <p>平成29年度は、7月に開庁予定である<u>上下水道局の新庁舎(太秦庁舎)</u>や、<u>観光客や市民の方が多数訪れる観光地等に</u>、子供も利用しやすい水飲み場(京の水飲みスポット)を設置する。</p> <p>(今後の主な設置予定箇所)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・<u>元離宮二条城事務所の券売機北側付近</u> ・<u>上下水道局新庁舎(太秦庁舎)</u> <p>(設置実績)</p> <p>平成26年 7月 京都市役所前「こども夢広場」 11月 「バスの駅」東山安井 平成27年 5月 上下水道局南部営業所 平成28年 3月 京都駅南口「みやこ夢てらす」、岡崎公園 12月 京都駅南口「サンクンガーデン」</p>			
[参 考(他都市の状況・事業効果など)]			



市役所前広場の水飲み場

平成29年度 京都市予算案 事業概要

上下水道局

事務事業名	「琵琶湖疏水通船復活」事業		
予 算 額	40,000千円	新規・継続の別	継続
		政策的新規充実予算枠・局配分枠等の別	局配分枠
担 当 課	総務部 経営企画課(672-7709)		
<p>[事業実施に至る経過・背景など]</p> <p>琵琶湖疏水の通船の復活は、明治の先人たちが築き上げた貴重な産業遺産である琵琶湖疏水が市民生活や産業・文化を支えてきた建設の意義を認識していただくことや、大津市と京都市を繋ぐ新たな観光資源を創出することにより、琵琶湖疏水沿線の天津・山科・岡崎地域の更なる活性化の源となることに寄与する事業である。</p> <p>平成26年12月に「琵琶湖疏水船下り実行委員会」を立ち上げ、平成27年3月に琵琶湖疏水で64年振りの舟運となる試行事業を実施して以来、その後、様々な可能性を追求しながら、4回の試行事業を実施してきた。</p> <p>[事業概要]</p> <p>平成30年度の本格事業化に向けて、明治の先人から受け継いできた疏水沿線の歴史、景観に調和したデザインと、現代の基準に見合った高い安全性及び快適性を兼ね備え、採算性を向上させるために乗船定員を増やした新しい船を建造する。</p> <p>なお、建造に係る費用については、寄附金（企業からの協賛金やふるさと納税等）や国の補助制度の活用等により財源の確保を行う。</p>			
 <p>春に実施した試行事業の様子</p>			
[参 考（他都市の状況・事業効果など）]			

平成29年度 京都市予算案 事業概要

上下水道局

事務事業名	石田水環境保全センター運転管理業務の民間委託		
予 算 額	136,000 千円	新規・継続の別	新規
		政策的新規充実予算枠・局配分枠等の別	局配分枠
担 当 課	下水道部 施設課(672-7833)		
<p>[事業実施に至る経過・背景など]</p> <p>「京都市上下水道事業中期経営プラン(2013-2017)」における企業改革をより一層進め、効率的に事業を推進するための計画「第5期効率化推進計画」に基づき、民間活力の積極的な導入を図っており、水道開閉栓作業や水道メーター試験業務などについて順次民間委託化を実施してきた。</p> <p>[事業概要]</p> <p>平成26年度の鳥羽水環境保全センター吉祥院支所に続き、平成29年度から石田水環境保全センターの運転管理業務(水処理施設の運転操作監視業務や日常的な巡視点検業務)を民間委託する。</p>			
			
[参 考 (他都市の状況・事業効果など)]			